様式第１号の４(第４条の４関係)

(第１面)

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 産業廃棄物処理計画実施状況報告書  　　年　　月　　日  （宛先）さいたま市長  報告者  住所  氏名  (法人にあっては、名称及び代表者の氏名)  電話番号  さいたま市廃棄物の処理及び再生利用に関する条例第１２条の２第２項の規定により、　　　　年度の産業廃棄物処理計画の実施の状況を報告します。 | | | | | |
| 事業所の名称 | |  | | | |
| 事業所の所在地 | |  | | | |
| 事業の種類 | |  | | | |
| 産業廃棄物処理計画における計画期間 | |  | | | |
| 産業廃棄物処理計画における目標値 | | | | | |
|  | 項目 | | 目標値 | 項目 | 目標値 |
| 排出量 | | ｔ | 全処理委託量 | ｔ |
| 自ら再生利用を行う  産業廃棄物の量 | | ｔ | 優良認定処理業者への処理委託量 | ｔ |
| 自ら熱回収を行う  産業廃棄物の量 | | ｔ | 再生利用業者への  処理委託量 | ｔ |
| 自ら中間処理により減量する  産業廃棄物の量 | | ｔ | 認定熱回収業者への処理委託量 | ｔ |
| 自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う  産業廃棄物の量 | | ｔ | 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 | ｔ |
| ※事務処理欄 | | |  | | | |

(第２面)



(第３面)

|  |
| --- |
| 備考  １　翌年度の６月３０日までに報告すること。ただし、災害その他やむを得ない事由により当該期限内に当該報告をすることができないとみとめられるときは、市長が定める期限までに報告すること。  ２　「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。  ３　「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。  ４　第２面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、⑴から⒁に掲げる量を記入すること。  ⑴　①欄　当該事業所において生じた産業廃棄物の量  ⑵　②欄　⑴の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量  ⑶　③欄　⑴の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  ⑷　④欄　⑴の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量  ⑸　⑤欄　⑷の量のうち、熱回収を行った量  ⑹　⑥欄　自ら中間処理をした後の量  ⑺　⑦欄　⑷の量から⑹の量を差し引いた量  ⑻　⑧欄　⑹の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量  ⑼　⑨欄　⑹の量のうち、自ら埋立処分又は海洋投入処分した量  ⑽　⑩欄　中間処理及び最終処分を委託した量  ⑾　⑪欄　⑽の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第６条の１１第２号に該当する者）への処理委託量  ⑿　⑫欄　⑽の量のうち、再生利用業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の４の２第１項の認定を受けた者）への処理委託量  ⒀　⑬欄 ⑽の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第１５条の３の３第１項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量  ⒁　⑭欄 ⑽の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量  ５　第２面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。  　６　産業廃棄物の種類が２以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第２  面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、  当該書面を添付すること。  ７　※事務処理欄は記入しないこと。  注　様式は日本産業規格Ａ４により作成すること。 |